様式1-9（小学校教諭（講師含む）用） （様式Ａ３判）

**令和２年度　　　自　己　評　価　シ　ー　ト**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学校名 | 川口市立上青木小学校 | 職名 | 教諭 | 氏名（年齢） | 五月女　保幸　（６１歳） | 職員番号 | ６８００１１ | 在職年数（現所属） | 年（　　） |
|  | キャリア段階 | Ⅰ　Ⅱ　Ⅲ |

|  |  |
| --- | --- |
| ｢目指す学校像｣ |  |
| 評価領域 | **目　　　　　標　　　　　及　　　　　び　　　　　実　　　　　績** | **行動プロセス** | **自　　　己　　　評　　　価** |
| 当　　　初　　　申　　　告 | 達　成　状　況　申　告 | ※修正申告 | 行動プロセスに関する着眼点 | 所見・特記事項 | 評価 | ※修正評価 |
| 困難度 | 今年度の目標 | 方　　　　　策（目標達成に向けた具体的な手順や時期等） | 目標の達成状況・方策の取組状況次年度への課題 | 達成度 | 修正内容 | 達成度 | （評価の理由を記するとともに、特筆すべき実践がある場合はその事実を記入する） | 修正理由 | 評価 |
| Ⅰ教科指導等指導計画の作成・改善学習指導と評価 | 5 | * コロナウイルス感染症対応の影響を最小限に留めるため教育課程を臨機応変に見直しながら、児童の学習意欲と考える力を高める授業を工夫し実施する。
 | 1. 教材の見直し、学習順・指導時数の工夫、視聴覚教材・教具の活用により、学習指導要領内容を完全に実施する。
2. 協働学習の制約を視聴覚教材・教具の活用により補う。
3. 児童の学習意欲を高めるため、実際の現象を直接経験できる教材を用い、見通しと振り返りのある授業を行う。
4. 児童の考える力を高めるために、各単元で1回以上実験観察をもとに「書く力の向上」の取組を入れた授業を行う。
5. ノートを活用した基礎基本を定着させる授業を実施し、単元のまとめテストで、正答率を7割以上とする。
 | 1. 休校による約2か月分の理科指導の遅れを、学習順・指導時数を効率的に計画し、教材を減らすことなく、NHK視聴覚教材等を活用して、12月には通常の進度に戻すことができた。学習指導要領内容を完全実施する見込みである。
2. 協働学習の制約を放送教材・ICT教具の活用し補った。
3. 植物の花のつくりの観察や、長尺のふりこの実験など、現象を直接経験できる教材を用い、課題に対して結論を導く過程を重視しながら見通しと振り返りのある授業を行った。
4. 各単元で1回以上実験観察をもとにノートに書いた考察を点検、・助言し、書く力を高める指導を行った。
5. ノートを活用した基礎基本を定着させる授業を実施し、単元のまとめテストで、正答率を８．５割とした。
 | a |  |  | ・学習指導要領を踏まえ、児童の実態に即した指導計画を作成している。・授業の充実を図るため、常に教材研究に努めている。・適切な指導計画に基づき、年間を通じて計画的に授業を進めている。・日頃から指導計画を見直し、その工夫・改善に努めている。・児童に対する発問、指示、板書などが適切で、授業が円滑に展開されている。・児童一人一人の学習状況を把握し、個に応じた指導・支援を行っている。・指導方法や指導形態を工夫して、児童の主体的な学習活動を展開している。・指導と評価の一体化を図り、指導の改善や児童の学習意欲の向上に努めている。・学校の教育活動全体を通じて、道徳教育の充実に努めている。 |  |  |  |  |
| ■中間申告　[進行状況の整理・目標の修正等] |
| Ⅱ学年・学級経営・生徒指導等 | 4 | * 生徒指導担当として、発達の課題のある児童や、問題を抱える児童がよりよく学校に適応できるよう働きかける。
 | 1. 担任、生徒指導委員会、特別支援教育校内委員会、中学校の小学校連携教員と情報交換を密にし、課題を抱える児童の情報を共有する。（随時）
2. 授業や個別の面接で課題を抱える児童の話を傾聴し、必要に応じ保護者と面談を行い、児童の学校への適応を働きかける。（随時）
3. 学校を月3日休む児童と話をする機会を作り、関係職員と組織的に働きかけ、不登校を０とする。
 | 1. 担任、生徒指導委員会、特別支援教育校内委員会で助言に努めた。中学校の小学校連携教員と担任との仲立ちをし、特にきょうだいで課題を抱える児童の情報を共有するとともに、授業で連携教員と児童を関係づける場面を作るなど生徒指導連携をおこなった。
2. 授業や個別の面接で課題を抱える児童の学校への適応を促すため担任、児童に働きかけを行ったが、保護者と面談を行うケースには至らなかった。
3. 授業の前後に学校を休みがちな児童と話をする機会を作るなどしたが、不登校を０とすることはできていない。
 | b |  |  | ・児童が協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的態度を育成している。・学級・学年集団を適切に指導するとともに、児童一人一人のよさを生かしている。・教育相談的な対応に心がけ、児童理解に努めながら適切な生徒指導を行っている。・教員間で学年運営上の課題を共有するなど、相互理解に努めている。・家庭や地域との情報交換を行い、連携して指導している。 |  |  |  |  |
| ■中間申告　[進行状況の整理・目標の修正等] |
| Ⅲその他の校務等校務分掌等 | 4 | * 理科主任として、きれいで落ち着きがあり、安心・安全が保障された教育環境づくりを実現する。
 | 1. 理科室、理科準備室、北棟1階の安全点検を毎日実施する。
2. 理科室の授業に関わらない物品を排除し、教材教具の整理整頓、棚の表示の「見える化」を徹底する。（1学期末まで）
3. 専科以外の教員でも使いやすい準備室とするため、過去の教具・実験具を整理し、大量の不要物を処分した上で、物品等の再配置をする。（2学期末まで）
 | 1. 理科室、理科準備室、北棟1階の安全点検を毎日実施した。また、範囲を広げ中庭の花壇（教材園）周辺の整備を行った。
2. 理科室の授業に関わらない物品を排除し、教材教具の整理整頓、棚の表示の「見える化」を行った
3. 専科以外の教員でも使いやすい準備室とするため、過去の教具・実験具を整理し、大量の不要物を処分した上で、物品等の再配置を行った。
 | a |  |  | ・校務分掌の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を果たしている。・分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。・保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。・教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。 |  |  |  |  |
| ■中間申告　[進行状況の整理・目標の修正等] |
| チームワーク行　動段階に〇　を記　入 | Ⅰ段階 | チームワーク行動に関する着眼点 | 重点 | Ⅱ段階 | チームワーク行動に関する着眼点 | 重点 | Ⅲ段階 | チームワーク行動に関する着眼点 | 重点 | チームワーク行動における重点項目その他の取組状況 | 評価 |
| 相手の立場や気持ちを理解し、日常的に円滑なコミュニケーションを取っている |  | 児童生徒の状況や校務に関わる情報を共有し、積極的にコミュニケーションを取っている |  | チームの取組等を他の教職員や保護者等に発信するなど、信頼関係づくりを推進している |  | 児童の状況、校務に関わる情報を共有するために、積極的にコミュニケーションをとり、共通行動をとり、諸問題に組織的に取り組む。生徒指導、教育相談等、自らの教育活動等の経験を伝承するため、他の教職員に対して進んで支援や助言を行う。 |  |
| 諸会議や職務遂行において、他の教職員の意見に耳を傾け協力して取り組んでいる |  | 諸会議や職務遂行において、提案や改善に努め、意欲を持って主体的に取り組んでいる |  | 諸会議や職務遂行において、進んで合意形成を図りながら、職務を円滑に遂行している |  |
| 教育活動等の経験を継承するため、他の教職員から積極的に学ぼうとしている |  | チームで協力して教育活動等の経験の蓄積に取り組んでいる |  | 教育活動等の経験を伝承するため、他の教職員に対して進んで支援・助言を行っている |  |
| 直接担当する業務以外でも、気付いたことがあれば積極的に行動している |  | 管理職や他の教職員、保護者等と協力・協働し、チームワークづくりを推進している |  | 広い視野から取組状況等を分析し、中長期的な視点で課題や対応方針を考えて行動している |  |
| 研修 | （目標・計画）* 新しい小学校理科の目標と内容について、問題解決の力を育てる「主体的・対話的で深い学び」の学習方法を具体化する観点から研究を行う。
* NHKの放送教材を問題解決学習の動機づけに位置付けた指導過程の工夫について研究する。
 | （成果・課題） | ※ チームワーク行動については、当該年度に取り組もうとする重点項目２つに○を記入する。※ 自己評価欄については、「実績」及び「行動プロセス」について、「行動プロセスに関する着眼点」を 踏まえ、領域ごとに総合的に自己評価を行い、記入する。※ 修正申告及び修正評価欄については、達成状況申告及び自己評価が基準日前に行われた場合であって、 基準日現在において状況が変わった場合に限り記載する。 |